

セーフティプロモーションスクール活動を通じた学校安全の推進

大阪教育大学 教授

学校安全推進センター長

学長補佐(学校安全担当)

日本セーフティプロモーションスクール協議会理事長

藤 田 大 輔



大阪教育大学では、**附属池田小学校事件の教訓**を基に、
わが国の教育振興基本計画における

自助・共助・公助の理念の下に、

教職員, 児童・生徒, PTA, 地域が参加する

共感と協働に基づく

安全教育・安全管理・安全連携

を推進する**新たな包括的な「学校安全」**の取り組みとして、

「セーフティプロモーションスクール(SPS)」

の普及を推進しています。



大阪教育大学附属池田小学校事件

- 2001年6月8日、附属池田小学校に1名の不審者が侵入し、8名の児童の命が奪われ、13名の児童と2名の教員が重傷を負わされた。
- 心や体に大きな傷を負わされた児童・保護者・教員に、現在も継続した長期にわたるケアが必要とされている。
- 2度とこのような事件が繰り返されないように、積極的な学校安全推進のための取り組みが必要とされている。



文部科学省初等中等教育局健康教育・食育科の
平成28年度事業及び平成29年度事業の
「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」
の中で、
「セーフティプロモーションスクール等の先進事例を参考
に地域の学校安全関係者（有資格者等）、関係機関及び
団体との連携・協力」という事業が設定されました。

また平成30年度から始まった「学校安全総合支援事業」
は、令和5年度も引き続き予算化され、
「学校種・地域の特性に応じた地域全体での学校安全推
進体制の構築を図るため、セーフティプロモーションス
クール等の先進事例を参考とする...」と、セーフティプロ
モーションスクールに関わる事業が展開されました。



令和4年3月25日に閣議決定された 「第3次学校安全の推進に関する計画」

「Ⅱ 学校安全を推進するための方策」、
「1. 学校安全に関する組織的取組の推進」、
「(2)学校安全計画に基づく実践的な取組内容の充実」で、
「第3次計画期間においては、**セーフティプロモーションス
クール⁸**の考え方を取り入れ、学校医等の積極的な参画を
得ながら、学校種や児童生徒等の発達段階に応じた学校
安全計画自体の見直しを含むPDCAサイクルの確立を目
指す。」と明記されています。

8 学校安全に関する指標(組織、方略、計画、実践、評価、改善、共有)に基づいて、学校安全の推進を目的とした中期目標・中期計画(3年間程度)を明確に設定し、その目標と計画を達成するための組織の整備とS-PDCAS サイクルに基づく実践と協働、さらに分析による客観的な根拠に基づいた評価の共有が継続されていると認定された学校を認証する取組



(1) 家庭、地域との連携・協働の推進

- ・地域学校安全委員会やコミュニティ・スクール等の仕組みを活用して、地域と協働して学校安全に取り組んだ学校数
- ・学校安全に関する PTA の参画状況(安全点検、登下校時の見守り活動等)

「4. 学校における安全管理の取組の充実」

- ・児童生徒が安全点検に参加する活動を行っている学校数
- ・専門的な視点から、学校における具体的な安全点検の方法、体制を構築している学校設置者数
- ・重大事故の予防のためのヒヤリハット事例に関する校内での定期共有の状況



「教育振興基本計画」(閣議決定:令和5年6月16日)

「Ⅱ. 今後の教育政策に関する基本的な方針」の、

「5つの基本的な方針」

「⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話」の中で、

(児童生徒等の安全確保)

○「第3次学校安全の推進に関する計画」に基づき、組織的・実践的な安全対策に取り組むセーフティプロモーションスクールの考え方を取り入れ、全ての児童生徒等が、自ら適切に判断し、主体的に行動できるよう、安全に関する資質・能力を身に付けるとともに、学校安全に関する組織的取組の推進、家庭・地域・関係機関等との連携・協働、学校における安全管理の取組の充実等を推進する必要がある。」と明記されました。

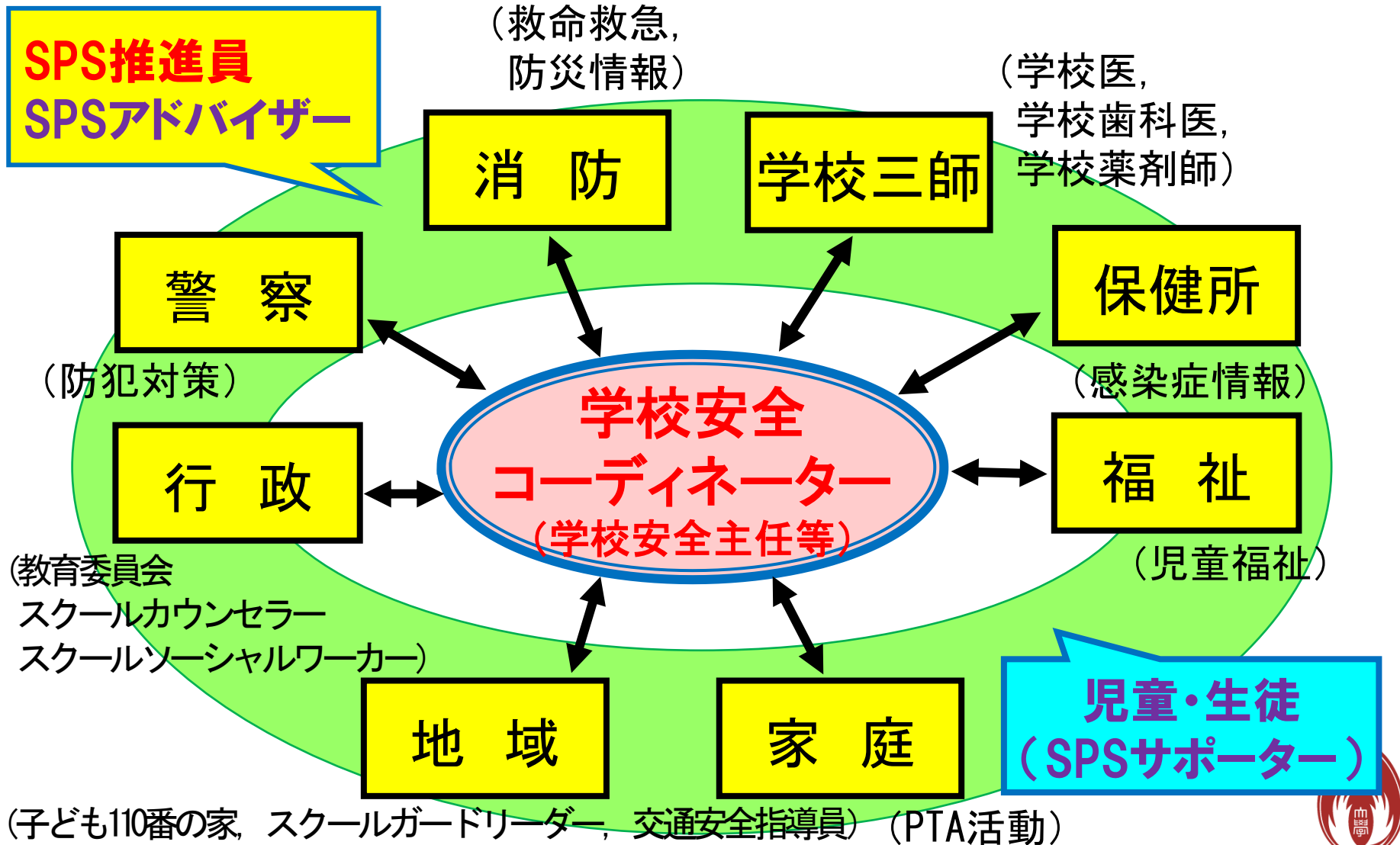


セーフティプロモーションスクールの7つの指標

指標1 (組織)	学校内に、「学校安全コーディネーター」等を中心とする学校安全推進のための「学校安全委員会」が設置されている。
指標2 (方略)	学校において、「生活安全」・「災害安全」・「交通安全」の分野ごとに、セーフティプロモーションの考え方に基づいた「中期目標・中期計画(3年間程度)」が設定されている。
指標3 (計画)	学校安全委員会において、「中期目標・中期計画」に基づいた学校独自の学校安全推進のための「年間計画」が、「安全教育」・「安全管理」・「安全連携」の領域ごとに具体的に策定されている。
指標4 (実践)	「年間計画」に基づいて、学校安全委員会を中心に、学校関係者が参加して、学校安全推進のための活動が年間を通じて継続的に実践されている。
指標5 (評価)	学校安全委員会において、実践された学校安全推進に関わる活動の成果が定期的に報告され、それぞれ分析に基づく明確な根拠をもとに学校安全推進活動に対する評価が行われている。
指標6 (改善)	学校安全委員会における次年度の「年間計画」の策定にあたって、それまでの活動成果の分析と評価を参考に、当該校における学校安全に関わる実践課題の明確化と「年間計画」の改善が取り組まれている。
指標7 (共有)	学校安全推進に関わる活動の成果が、当該の学校関係者や地域関係者に広報・共有されるとともに、「協働」の理念に基づいて、国内外の学校への積極的な活動成果の発信・共有と新たな情報の収集が継続的に実践されている。



「学校安全委員会：チーム学校安全」の例



指標1:セーフティプロモーションスクールの 学校安全委員会の構成(例)

	委員の所属構成	(役職例) :
委員長	学校安全コーディネーター	・
委員	教職員代表	<ul style="list-style-type: none"> ・ (校長) : , ・ (教務主任) : , ・ (教諭) : , ・ (教諭) : , ・ (副校長・教頭) : ・ (養護教諭) : ・ (教諭) : ・ (事務) :
委員	児童生徒代表	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
委員	PTA代表	<ul style="list-style-type: none"> ・ (会長) , ・ (副会長)
委員	警察関係者	・
委員	消防関係者	・
委員	保健関係者 (学校三師・保健所)	・
委員	児童福祉関係者	・
委員	市町村危機管理部局関係者	・
委員	地域自治会代表	・
委員	地域ボランティア代表	・

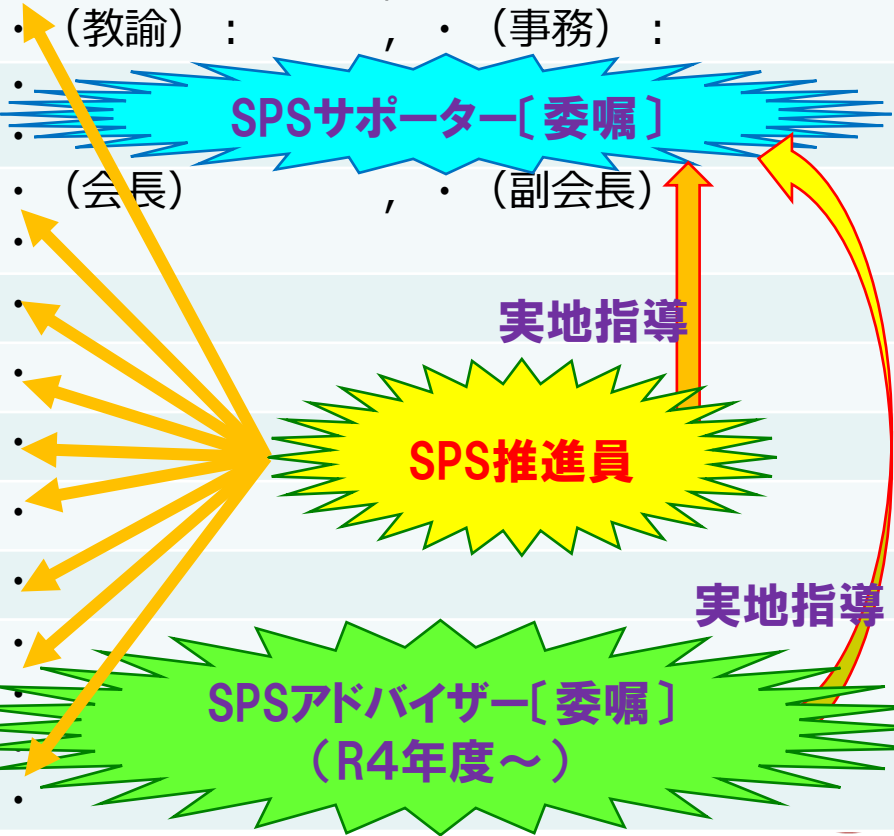
SPSサポーター[委嘱]

SPS推進員

**SPSアドバイザー[委嘱]
(R4年度~)**

実地指導

実地指導



学校保健安全法

第30条(地域の関係機関等との連携)

学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、児童生徒等の**保護者**との連携を図るとともに、当該学校が所在する地域の実情に応じて、当該地域を管轄する**警察署その他の関係機関**、**地域の安全を確保するための活動を行う団体**その他の関係団体、当該**地域の住民**その他の関係者との連携を図るよう努めるものとする。



指標2:セーフティプロモーションスクール活動の中期目標・中期計画

分野	中期目標・中期計画の設定【Strategy】
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	例1) 児童生徒への教育目標・計画 例2) 校内での外傷件数の削減目標・計画 例3) 危険等発生時対処要領の実効性を高める取り組みの目標・計画 例4) 校内安全点検の実効性を高める取り組みの目標・計画 例5) 地域資源との連携に関する目標・計画
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火山対策 ・火災予防	例1) 児童生徒への教育目標・計画 例2) 教職員への周知目標・訓練計画 例3) 危険等発生時対処要領の実効性を高める取り組みの目標・計画 例4) 避難所開設支援や備蓄点検の実効性を高める取り組みの目標・計画 例5) 地域資源との連携に関する目標・計画
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	例1) 児童生徒への教育目標・計画 例2) 児童生徒が関わる交通事故件数の削減目標・計画 例3) 危険等発生時対処要領の実効性を高める取り組みの目標・計画 例4) 自転車点検や通学路点検の実効性を高める取り組みの目標・計画 例5) 地域資源との連携に関する目標・計画



セーフティプロモーションスクールの活動マトリックス

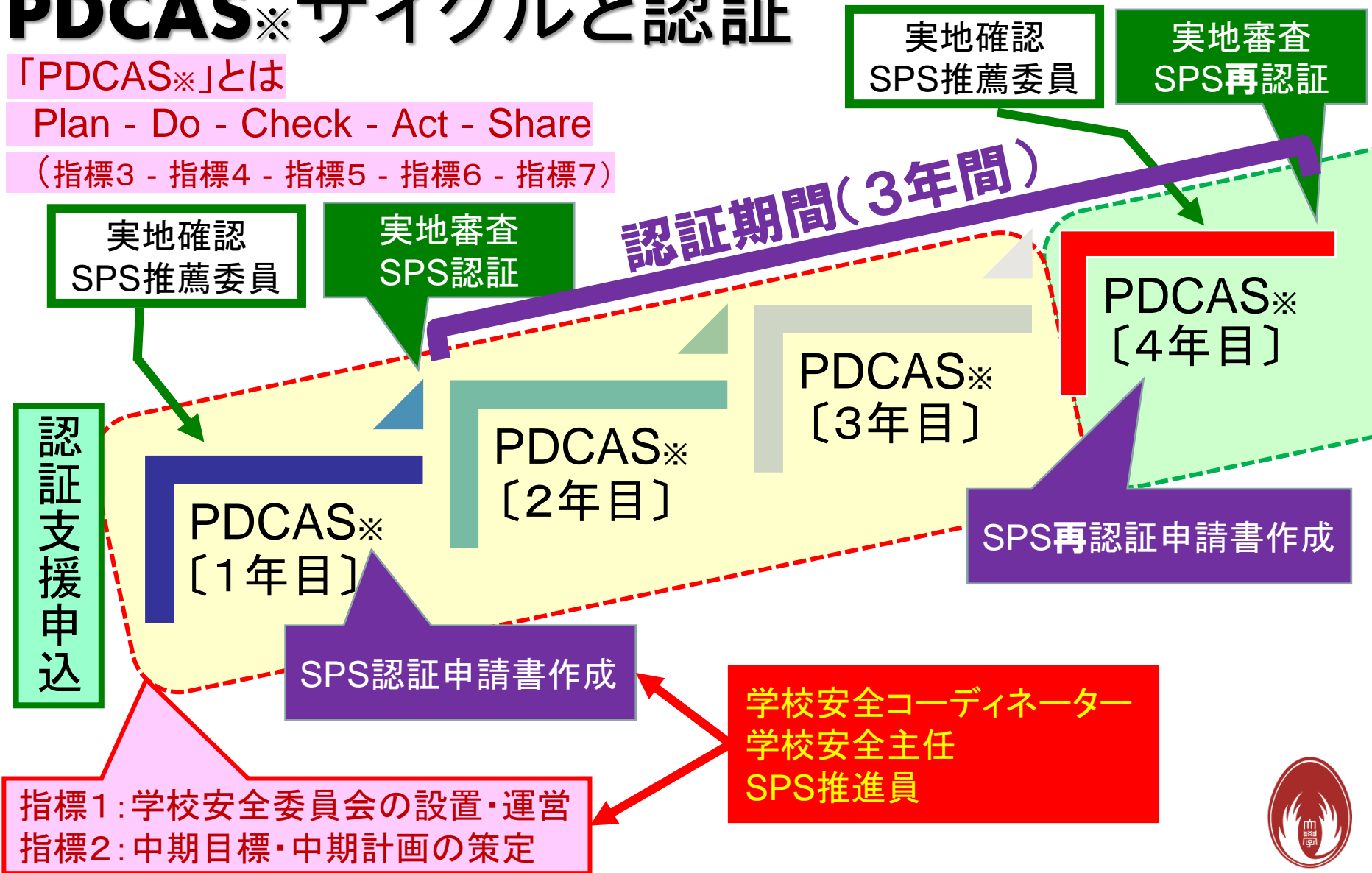
分野	領域	計画 Plan	実践 Do	評価 Check	改善 Act	共有 Share
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育					
	安全管理					
	安全連携					
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火山対策 ・火災予防	安全教育					
	安全管理					
	安全連携					
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育					
	安全管理					
	安全連携					

セーフティプロモーションスクールの PDCAS※サイクルと認証

「PDCAS※」とは

Plan - Do - Check - Act - Share

(指標3 - 指標4 - 指標5 - 指標6 - 指標7)



セーフティプロモーションスクールの認証校園の状況 (2024.02.05)

【宮城県】

- 石巻市立鮎川小学校
- 石巻市立広淵小学校
- 石巻市立万石浦小学校
- 石巻市立渡波小学校
- 石巻市立湊小学校
- 石巻市立石巻小学校
- 石巻市立桃生小学校
- 石巻市立和淵小学校**
- 石巻市立住吉中学校
- 石巻市立青葉中学校
- 石巻市立湊中学校
- 石巻市立河北中学校
- 石巻市立河南東中学校
- 石巻市立牡鹿中学校
- 石巻市立渡波中学校**

【東京都】

- 台東区立金竜小学校

【千葉県】

- 八街市立朝陽小学校

【神奈川県】

- 平塚市立土屋小学校

【大阪府】

- 大阪教育大学附属池田小学校
- 大阪教育大学附属池田中学校
- 大阪教育大学附属高等学校池田校舎
- 大阪市立堀江小学校
- 大阪市立新高小学校
- 高槻市立寿栄小学校
- 羽曳野市立羽曳が丘小学校
- 河内長野市立石仏小学校
- 高槻市立芝生小学校
- 高槻市立丸橋小学校
- 大阪市立瓜破中学校
- 寝屋川市立中木田中学校
- 高槻市立第三中学校
- 大阪府立中央聴覚支援学校
- 大阪教育大学附属特別支援学校**

- 大阪市立堀江幼稚園

- あけぼのほりえこども園

【奈良県】

- 上牧町立上牧第二小学校
- 上牧町立上牧第二中学校

【京都府】

- 京都市立養徳小学校

【兵庫県】

- 丹波篠山市立古市小学校
- 兵庫県立東播磨高等学校
- 小野市立小野特別支援学校

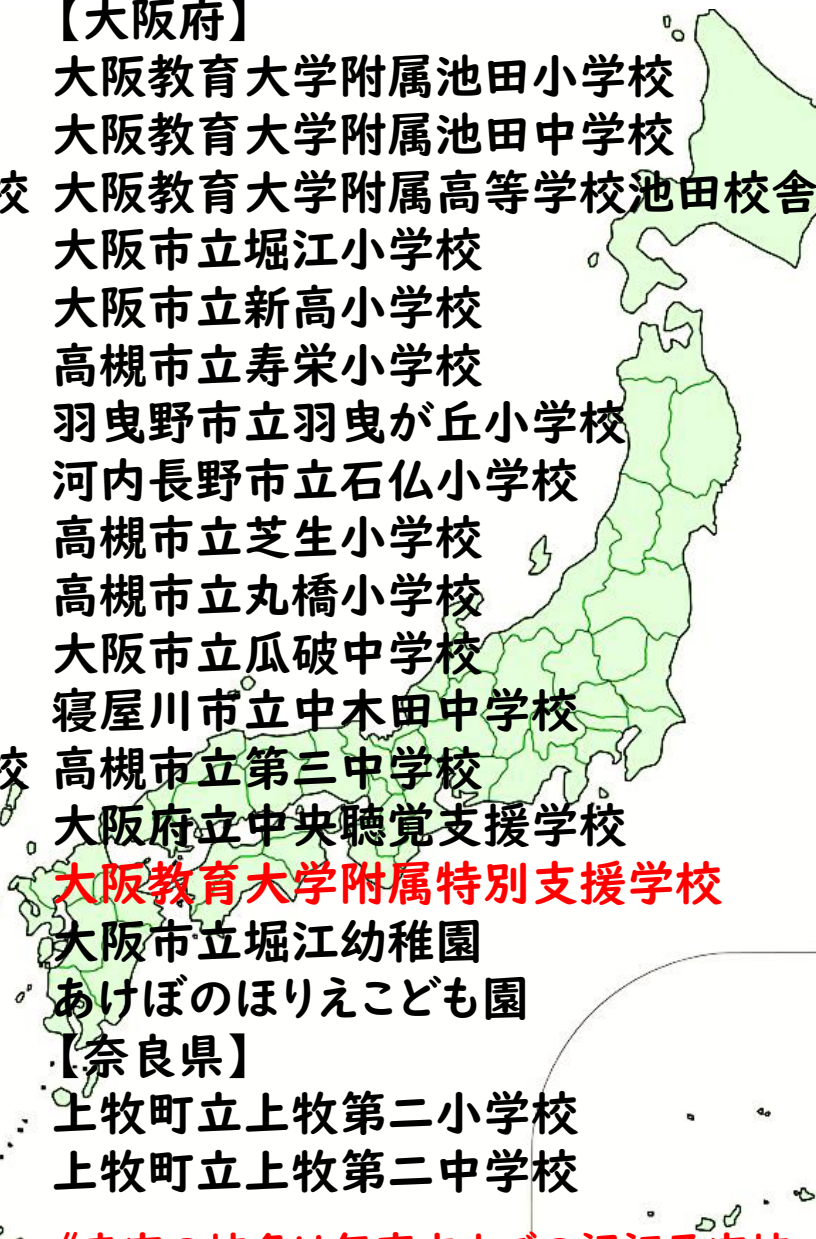
【高知県】

- 宿毛市立山奈小学校
- 高知市立旭小学校
- 黒潮町立南郷小学校

【宮崎県】

- 門川町立門川中学校
- 宮崎市立久峰中学校
- 日南市立飫肥中学校
- 高鍋町立高鍋東中学校
- 高鍋町立高鍋西中学校
- 延岡市立南中学校
- 宮崎県立門川高等学校
- 宮崎県立佐土原高等学校
- 宮崎県立日南高等学校
- 宮崎県立高鍋農業高等学校
- 宮崎県立延岡工業高等学校

《赤字の校名は年度末までの認証予定校》



セーフティプロモーションスクール認証申請校

〔日本国内で計7校園を認証支援中〕

2024年02月05日時点

大阪市立東小橋小学校

(大阪府大阪市)

大阪教育大学附属天王寺小学校

(大阪府大阪市)

泉南市立砂川小学校

(大阪府泉南市)

泉南市立東小学校

(大阪府泉南市)

宮山幼稚園

(大阪府豊中市)

河内長野市立加賀田小学校

(大阪府河内長野市)

矢掛町立中川小学校

(岡山県小田郡)



国別にみたセーフティプロモーションスクール数

《2024.02.05》

	認証校※	認証申請校
日本	55	7
中華人民共和国	30	43
タイ王国	2	16
連合王国(イギリス)	2	3
台湾	1	-
計	90	69

【※日本の認証校数には、令和5年度内の認証予定校3校を含む】



高槻市立芝生小学校における SPS活動事例

第1期認証 : R5.02.23～



消防署の職員を外部講師に、 心肺蘇生法の実技講習を実施している様子



「生活委員会」担当児童による「安全点検表」 点検表の点検項目は、児童が「どのような箇所を確認すべきかを議論して、設けられたもの」

生活委員会 安全点検表		
(12) 月 (12) 日		
担当場所 項目	チェック ○△×	点検者 名あ、 備考(詳しく)
階段		
窓の開閉がスムーズか	○	
ドアの開閉スムーズか	△	
物は落ちていないか	×	
通行の邪魔になるものはないか	○	
危険なものはないか	△	
欠けている、ひび割れはないか	×	
コンセント、ガス栓に危険はないか	×	
水漏れはないか	○	
破損、故障しているところはないか	○	
すべりやすいところはないか	○	
その他		

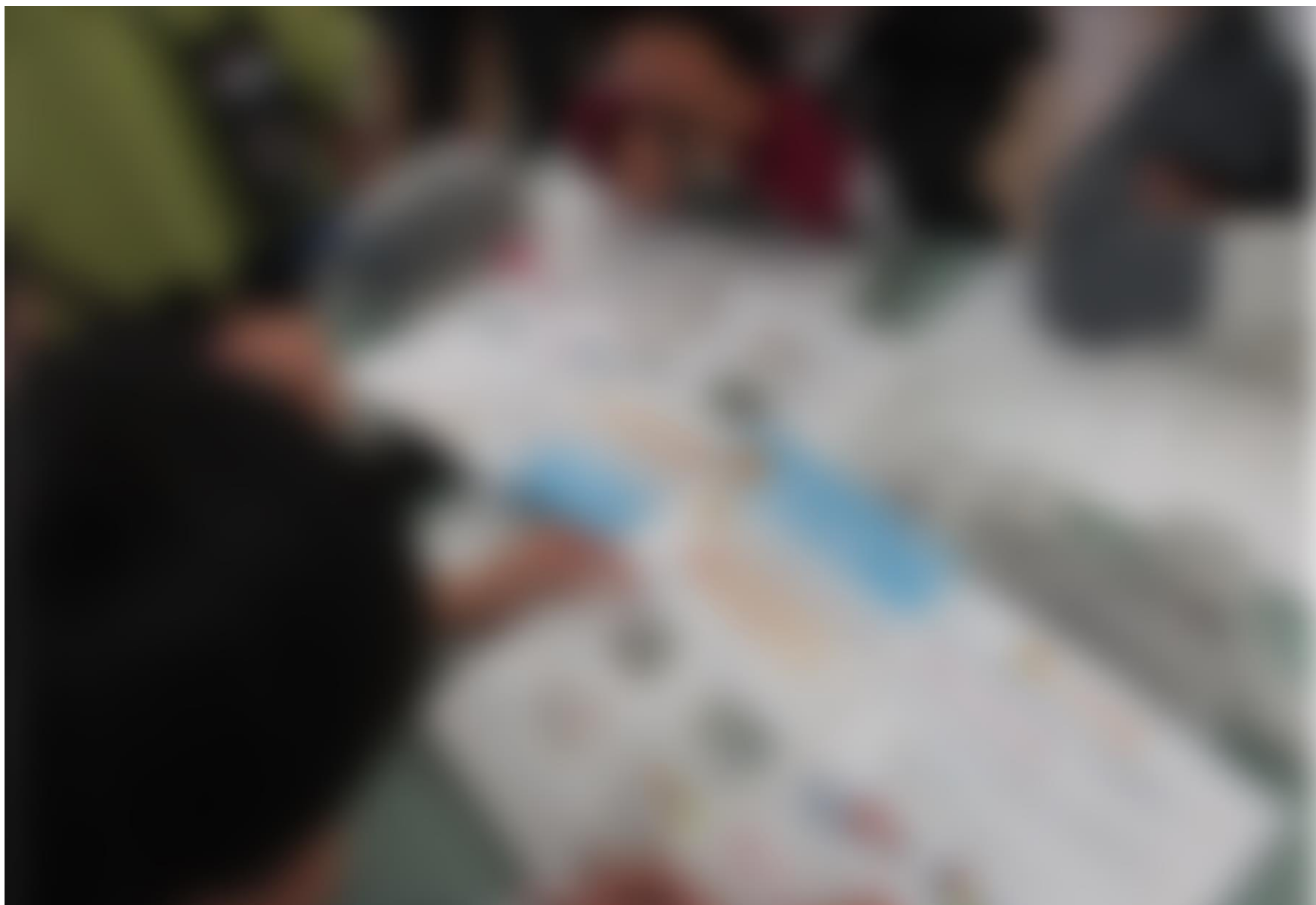
生活委員会 安全点検表		
(17) 月 (17) 日		
担当場所 項目	チェック ○△×	点検者 名あ、 備考(詳しく)
1階		
窓の開閉がスムーズか	△	
ドアの開閉スムーズか	○	
物は落ちていないか	○	
通行の邪魔になるものはないか	○	
危険なものはないか	○	
欠けている、ひび割れはないか	○	
コンセント、ガス栓に危険はないか	○	
水漏れはないか	○	
破損、故障しているところはないか	○	
すべりやすいところはないか	○	
その他		



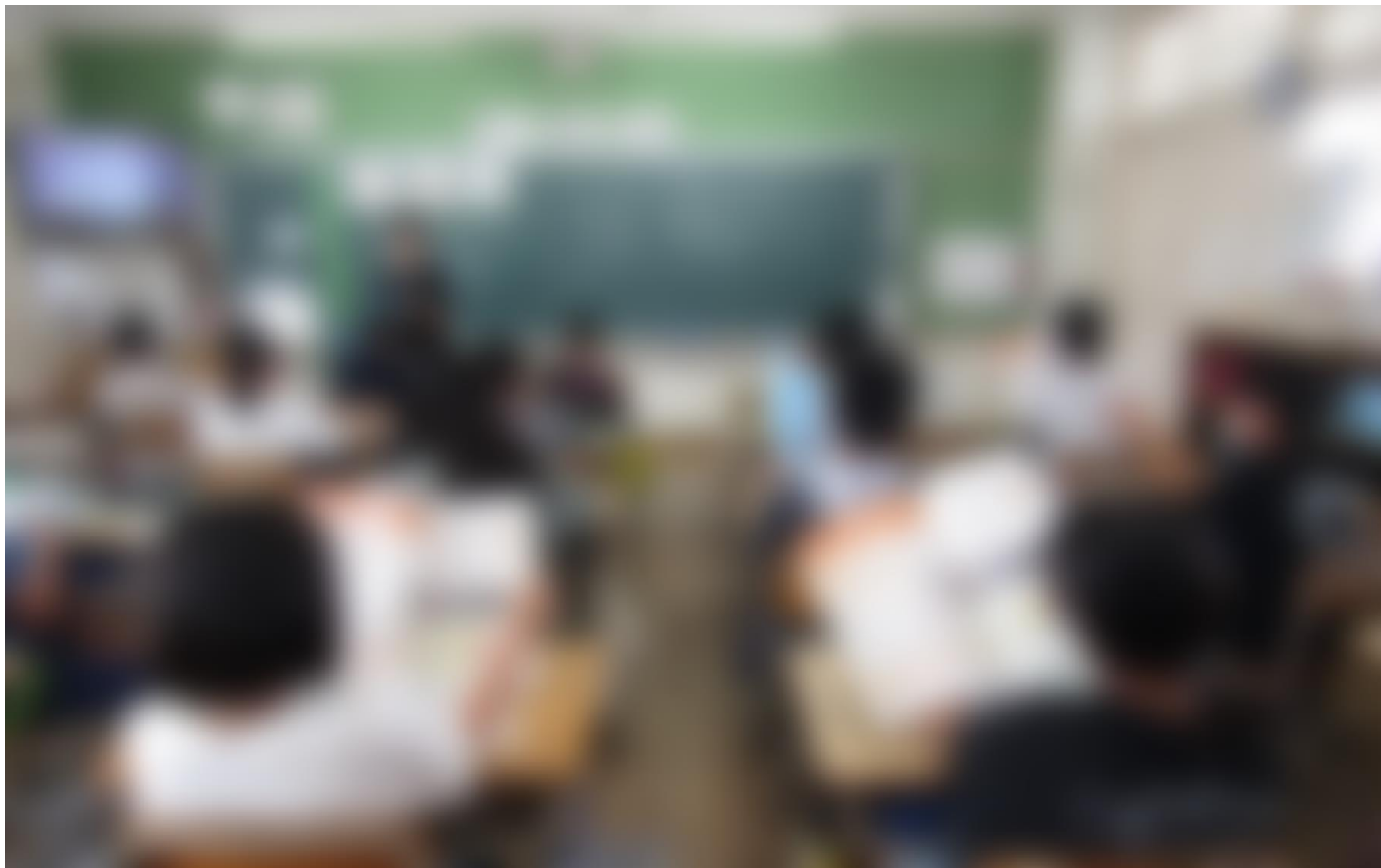
校長先生へ、「生活委員会」による点検結果の報告と改善の要望をしている様子



安全教育副読本「たかつき安全NOTE」を活用した 安全教育授業の様子(対話的な授業)

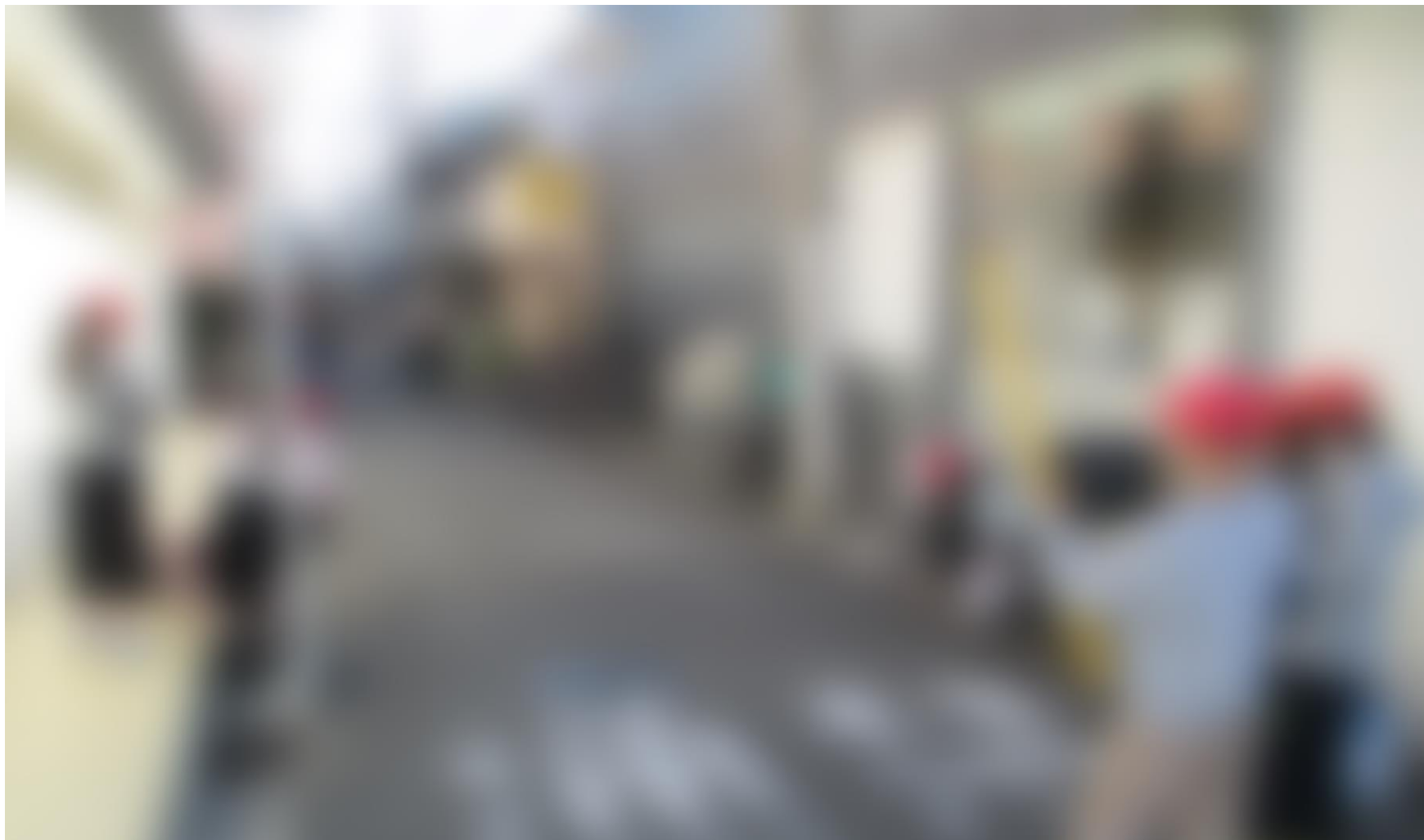


安全教育副読本「たかつき安全NOTE」を活用した 安全教育授業の様子（全体風景）



5年生の児童が通学路を生活安全・交通安全・災害安全の各視点から 安全点検を実施している様子

《危険箇所の把握に留まるではなく、対策・解決策等について話し合うことで、危険予測・回避能力の向上を目的とした学習です》



高槻市立第三中学校における SPS活動事例

第1期認証 : R5.02.23~



生徒が理科室の安全点検を実施している様子



中学校の家庭科の学習における「保育実習」の様子 (地域の保育園児の避難訓練と重ねて実施)



大阪教育大学附属池田中学校 におけるSPS活動事例

第1期認証	: H27.03.06～
第2期認証	: H30.03.06～
第3期認証	: R3.03.06～



特に力を入れていること

(生徒目線)

(安全は生徒と共に創り上げる安全)

共創安全

- ①生徒対象救急救命講習
- ②生徒会主催部活動事故対応訓練
- ③安全点検の工夫
- ④ヒヤリハットシステムを活用した安全な学校作り
- ⑤他校との取り組みの共有（生徒同士の交流）



①生徒対象救急救命講習

毎年50～70名受講

保護者も参加・見学可能

指導は、普及員の資格を持つ本校教員



②生徒会主催部活動事故対応訓練

(生徒目線、生徒と共に創り上げる)

事故対応訓練自体を生徒が企画・運営(実施、振り返り)まで全て行う

参加生徒は全員、①救急救命講習を受講済

生徒会が企画運営を行う。

実施部活動: 毎年3クラブ

参加者: 全部活動2名以上

生徒会

実施部活動員

実施日: 12月の放課後



③安全点検の工夫



・教職員と生徒の安全点検を同じシート（スプレッドシート）で実施

https://docs.google.com/spreadsheets/d/1m_I0i0ThI-Q0XWQmrgSeA08sztP7duH_lmFnHL2GTY4/edit?usp=sharing

安全点検表R5

保健安全委員会

安全点検表R5

保健安全委員会

生徒 教員 生徒 教員

安全点検表R5		保健安全委員会						
61	担当区域	体育館・武道館		担当生徒	小西			
				担当教員	福井			
	【記入上の注意】	担当区域に該当しない項目には.....		斜線				
		検査結果の良いものには.....		○				
		検査結果の悪いものには.....		×				
	※	*印の記入されているものについては、生徒で直せるものについては、生徒で直せるものについて、直す。生徒で無理な場合は、担当教員に修理を依頼する。点検者のところに自分の名前を記入する。						
	※	下記上段の欄に点検実施日を記入し、確認印を押印すること。						
	点検実施日	4月24日	5月9日	5月22日	6月8日	6月19日	7月10日	
	確認印	小西 魂原	福井	小西 魂原	福井	小西 魂原		
	点検項目	結果	処理	結果	処理	結果	処理	
整理整頓	出入口は整理整頓されていますか	×	○	○	○	○	○	
	アリーナ出入口は整理整頓されていますか	○	○	○	○	○	○	
	器具食器は整理整頓されていますか	○	○	○	○	○	○	
	水源・消防設備付近は整理整頓されていますか	×	○	移動済み	○	○	○	
危険物	武道館出入口は整理整頓されていますか	○	○	○	○	○	○	
	落下の危険のあるものはありますか	○	○	○	○	○	○	
電気設備	床上180cmまでの高さに釘等の突起物はありませんか	○	○	○	○	○	○	
	コンセントは正常ですか	○	○	○	○	○	○	
	劣化しているコード類はありませんか	○	○	○	○	○	○	
	放送機器は正常ですか	?	○	○	○	○	○	
設備	電灯はまわっていますか	×	○	入れ替え済み	○	○	○	
	換気扇は正常ですか	○	○	○	○	○	○	
	床・天井・壁のはがれはありませんか	○	○	○	○	○	○	
	ドア・窓は正常に開閉できますか	○	○	○	○	○	○	
その他	フロアに異常はないですか	○	○	○	○	○	○	
	窓ガラスは正常ですか	○	○	○	○	○	○	
	舞台に破損はありませんか	○	○	○	○	○	○	
	コーナガードがある場合はついていますか	○	○	○	○	○	○	

安全点検表R5		保健安全委員会						
57	担当区域	職員室前階段1～3F		担当生徒	大塩			
				担当教員	三好			
	【記入上の注意】	担当区域に該当しない項目には.....		斜線				
		検査結果の良いものには.....		○				
		検査結果の悪いものには.....		×				
	※	*印の記入されているものについては、生徒で直せるものについては、直す。生徒で無理な場合は、担当教員に修理を依頼する。点検者のところに自分の名前を記入する。						
	※	下記上段の欄に点検実施日を記入し、確認印を押印すること。						
	点検実施日	4月24日	5月9日	5月22日	6月8日	6月19日	7月10日	
	確認印	大塩	三好	大塩	三好	大塩		
	点検項目	結果	処理	結果	処理	結果	処理	
整理整頓	階段及びその周辺は整理整頓されていますか	○	○	○	○	○	○	
	水道周辺は整理整頓されていますか	○	○	○	○	○	○	
危険物	落下の危険のあるものはありますか	○	○	○	○	○	○	
	床上180cmまでの高さに釘等の突起物はありませんか	○	○	○	○	○	○	
電気設備	コンセントは正常ですか	○	○	○	○	○	○	
	蛍光灯はまわっていますか	○	○	○	○	○	○	
設備	床・天井・壁のはがれはありませんか	○	○	○	○	○	○	
	ドア・窓は正常に開閉できますか（付近にあれば）	×	三階の	○	備考	○	○	
その他	窓ガラスは正常ですか	×	○	○	○	○	○	
	破損箇所のある部品はありませんか	○	○	○	○	○	○	
	コーナガードがある場合はついていますか	×	○	○	×	つけ直	大塩	

備考 3階の窓ガラスは、かなり力を入れないと締めることができません。両方の窓を強く押さえて締めると閉まります。

生徒の意見が反映、デジタル化(画像)で具体的な場所までわかる
点検忘れの教師には生徒から声かけを行う。毎月2回の安全点検の実施



「校内ヒヤリハット登録システム(仮称)」の開発と教材活用

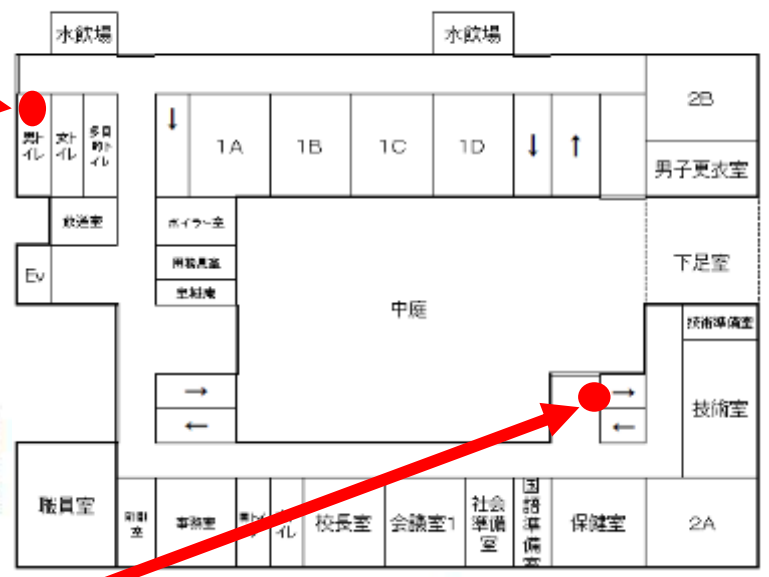
【附属池田中学校で実証実験開始:R3.9~】



校内で、「ヒヤリハット」に気づいたら、GIGAスクール構想で配布された端末を活用して「ヒヤリハット」のポイントを生徒・教職員が端末画面上で登録



1階 [例:端末画面上の校舎配置図]



登録された情報を整理・集計して「安全管理」と「安全教育」の教材資料として活用



④ヒヤリハットシステムを活用した安全な学校作り

・ヒヤリハットシステム活用した授業

(1)打ち込み データ集約

The screenshots show the Hiya-Hatto system interface. On the left, there are three panels: a floor plan with yellow warning triangles, a data entry form, and a data collection table. On the right, there are three floor plan maps showing red dots representing accident locations. The maps are labeled '衝突' (Collision), '3年生' (3rd grade), and '昼休み' (Lunch break).

(2)授業でデータ分析 (保健体育)

①あなたがピクトグラムを設置する場所を決めた理由をデータに基づき示しましょう。
(データとあなたの考えや経験を重ねて導き出した理由)

あなたがピクトグラムを設置する場所を画像と共に示しましょう。【画像にその際、何故、その位置に設置するのかの理由と効果を述べましょう。】

①あなたがピクトグラムを設置する場所を決めた理由をデータに基づき示しましょう。
(データとあなたの考えや経験を重ねて導き出した理由)

あなたがピクトグラムを設置する場所を画像と共に示しましょう。【画像にその際、何故、その位置に設置するのかの理由と効果を述べましょう。】

(3)改善案の作成 (校内ピクトグラム)



校内環境整備
生徒の気づきから

Before



After



⑤他校との取り組みの共有（生徒同士の交流）



岩手大学教育学部附属中学校

The Junior High School Affiliated to the Faculty of Education, Iwate University



岩手大学教育学部附属中学校
生徒会 保健委員



大阪教育大学附属池田中学校

IKEDA JUNIOR HIGH SCHOOL ATTACHED TO OSAKA KYOIKU UNIVERSITY



大阪教育大学附属池田中学校
生徒会・安全委員



宮崎県立門川高等学校における SPS活動事例

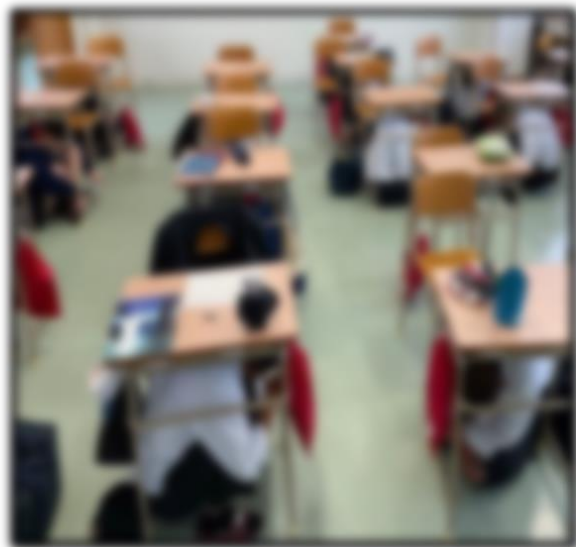
第1期認証 : R3.02.08～
第2期認証 : R6.02.01～



災害安全に関する取組



避難訓練について



体育館シューズは常に自分の机に置き、非常時には履き替える
訓練時には、シューズを持って避難する





災害安全に関する取組

防災に関する意識調査（生徒） 【R5.4 → R6.1】の変化

質問項目	R5.4	R6.1
Q.1 防災について意識をもっているか 【持っている、やや持っている】	93.0	94.5
Q.2 家庭で防災に関して話をしたことがあるか 【はい】	74.7	77.8
Q.3 自宅からの避難場所が決まっているか 【決まっている】	85.7	88.0





防災教育講演会（都城自衛隊） R5.9.28（木）

自衛隊

- ①体験型講演（応急担架作成・搬送要領）
- ②自衛隊車両や災害時に使用する道具の展示

防災委員会

- ①防災ゲーム（なまずの学校）



流れ

事前学習（教室） → ①体験型講話②展示観覧③なまずの学校
（各グループに分かれそれぞれ行う）



防災教育講演会（都城自衛隊） R5.9.28（木）



応急担架



搬送要領



「助けられる人」から「助ける人」へ





地域防災に関する取組

○ボランティア

- ・小中学校の体育祭（門川中学校・草川小学校・五十鈴小学校 門川小学校 等）
- ・町内一斉ラジオ体操（それぞれの出身小学校に）
- ・門川高校学びのフェスティバル 即売会 献血の呼びかけ

○地域との連携

- ・草川小学校 図上訓練 ・門川小学校農業体験（栽培系列）
- ・草川小学校来校（福祉科）・比知屋小学校来校（生活系列）
- ・門川中学校連携キャリア教育（系列等）・門川中学校出前講座（生活系列）

○総合的な探求の時間（地域防災班）

- ・門川小学校 図上訓練 避難経路確認 DIG訓練 計3回
- ・門川町小中学校下校時一斉避難訓練



○ボランティア

- ・小中学校の体育祭
(門川中学校・草川小学校・五十鈴小学校 門川小学校 等)
- ・町内一斉ラジオ体操(それぞれの出身小学校に)
- ・門川高校学びのフェスティバル 即売会 献血の呼びかけ

門川高校学びのフェスティバル 農産物即売会(献血の呼び掛け)



即売会

- ・農産物の販売(メロン・花・野菜等)
- ・食品(ハム・ジャム・パン等)
- ・スープの提供 等

- 日本赤十字社と連携
献血の呼び掛け



○総合的な探求の時間（地域防災班）

- ・門川小学校 図上訓練 避難経路確認 DIG訓練 計3回
- ・門川町小中学校下校時一斉避難訓練

避難経路確認（門川小学校） 9.27（水）

- ・下校に合わせて避難経路の確認

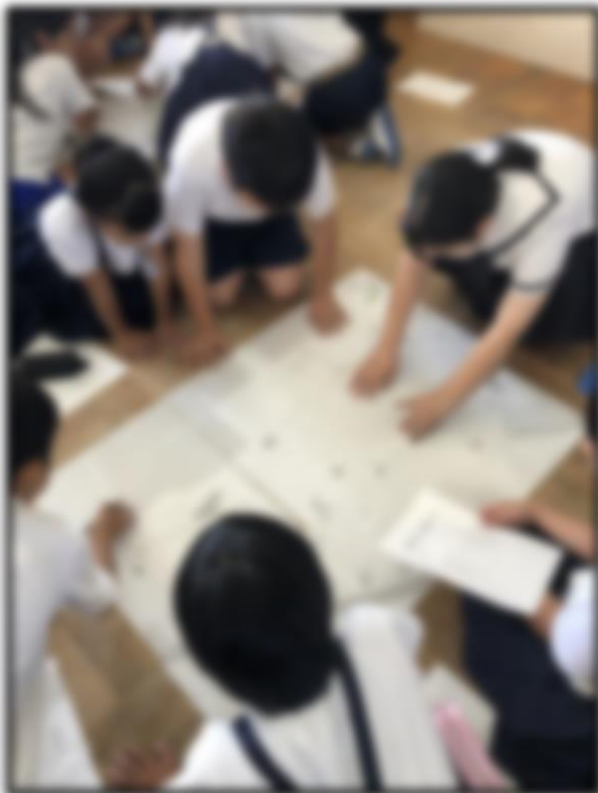


○総合的な探求の時間（地域防災班）

- ・門川小学校 図上訓練 避難経路確認 DIG訓練 計3回
- ・門川町小中学校下校時一斉避難訓練



DIG訓練（災害図上訓練）（門川小学校） 10.18（水）



地図上に危険箇所を
チェックする

学校安全総合支援事業

令和6年度要求・要望額（案） 2.5億円
（前年度予算額） 2.4億円



学校安全の推進に向けた課題

- ・学校において様々な計画やマニュアルが作成されているが**実効的な取組に結び付いていない**。
- ・地域、学校設置者、学校教職員の学校安全の**取組内容や意識に差がある**。
- ・東日本大震災の記憶を風化させることなく、今後発生が懸念される大規模災害に備えた**実践的な防災教育を全国的に進めていくことが必要である**。
- ・地域の多様な主体と連携・協同し、**子供の視点を加えた安全対策**を推進する必要がある。

「第3次学校安全の推進に関する計画」（令和4年3月閣議決定）に基づく取組を推進

1.組織的取組	2.関係機関との連携	3.安全教育	4.安全管理	5.横断的事項
<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全計画のPDCAサイクルの確立 ・学校安全に係る中核的職員の育成配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクール等の仕組みの活用 ・関係機関と連携した通学時の安全確保や防犯対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育 ・体験活動やデジタル技術を活用した安全教育 ・幼児期、特別支援学校の取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の視点を加えた安全点検 ・重大事故の予防のためのヒヤリハット事例の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全情報の見える化 ・通学路の安全対策等の好事例の実情把握 ・設置主体（国公立）に関わらない取組の推進 ・学校安全を認識する機会の設定（学校安全の日等）

セーフティプロモーションスクール（SPS）の考え方※を取り込み、全国的に学校安全を推進していく。

※安全教育・安全管理・組織活動に係る計画の策定、安全担当中核教員の設置、関係機関との連携、評価改善の実施など、継続的に学校安全に取り組む。

59

● 学校安全推進体制の構築 R6予算額(案) 184百万円(184百万円)

【都道府県・指定都市教育委員会への委託事業、平成24年度事業開始】

計画に基づくモデル的取組を各地域で実施し、その事例、成果等を地域全体で共有。地域全体の学校安全の底上げと裾野の拡大を図る。



● 学校安全に係る専門性向上支援 R6予算額(案) 63百万円(53百万円)

【民間企業等への委託事業、平成24年度事業開始】

各学校（国公立・私立含む）に対し、学校安全に係る研修の実施、専門家の派遣等様々な支援を行い、全国の学校の安全の推進を図る。

- 学校安全実践力向上セミナー等の開催 @31,396千円×2団体=62,792
(24,650千円×2団体=49,300)
- ・学校設置主体の別を問わず学校安全推進のためのセミナーを開催
例) 防犯・事故対応等テーマ別オンラインセミナー 危機管理マニュアル見直しセミナー
 - ・SPSの考え方を取り入れた取組の支援（専門家等の派遣）
 - ・PDCAサイクルに基づく学校安全計画や危機管理マニュアルを見直すアドバイザー派遣等
 - ・避難計画に関する合同相談会の実施
 - ・学校安全指導者研修会の開催
 - ・各地域における学校安全に関する研修講師等となる者に、効果的な研修会実施に必要な知識などを習得させることで、各地域における研修会の質を向上
 - ・安全点検・事故対応コンサルタントの派遣・紹介
 - ・各学校の安全点検・事故対応の高度化に資するよう、各地域での助言等を実施

※ その他諸経費（ポータルサイト管理費・全国連絡協議会運営費等（4百万円（前年度 4百万円））

担当：男女共同参画共生社会学習・安全課

「安全協働学区」とは

文部科学省の学校安全総合支援事業において、学校種・地域の特性に応じた地域全体での学校安全推進体制の構築を図るため、都道府県又は指定都市の教育委員会が当該都道府県等の中でモデルとなる地域を設定し、当該地域を所管する市区町村教育委員会が中心となってモデル地域全体での学校安全推進体制を構築する取組が進められている。

そこで大阪教育大学の第4期中期目標・計画として、第3期中期目標・計画で普及・認証を支援してきた日本各地の「**セーフティプロモーションスクール**（以下「**SPS**」と略記）」を中核とする「安全協働学区」の認証制度を新たに開発し、その認証制度の国内外での普及に取り組むこととした。



「安全協働学区」とは

隣接もしくは共通する学区を持つ複数の学校（中学校区における中学校と小学校など：※「学区」構成例を参照）を対象とし、SPS活動を共有しつつ、当該学区にある学校の安全を、学校・家庭・地域が協働して推進していく取り組みを、「安全協働学区の5指標（案）」に基づいて展開している学区を認証する取組である。

※「学区」構成例

- 1) 中学校区にある中学校と小学校等を含む学区
- 2) 校地を共有する小学校・中学校・高等学校（附属学校・特別支援学校など）



安全協働学区の5つの指標(案)

指標1 (組織)	SPS活動を参考として、学区内に、「 学校安全コーディネーター 」等を中心とする学校安全を包括的に推進するための「学区安全委員会」が設置されている。
指標2 (方略)	SPS活動を参考として、「生活安全」・「災害安全」・「交通安全」の分野ごとに、学区における安全協働活動に関わる中期目標・計画(3年間)が策定されている。
指標3 (PDCA)	SPS活動を参考として、明確な根拠に基づいた「学校安全計画」に関わるPDCAサイクルが展開されている。
指標4 (共有)	SPS活動を参考として、安全協働学区としての活動の成果の共有と国内外への成果の発信が継続されている。
指標5 (人材)	SPS活動を参考として、安全協働学区において、安全協働人材※の育成と学区内実装が継続されている。

※安全協働人材:

学校安全コーディネーター、SPS推進員、SPSサポーター、SPSアドバイザーなど



セーフティプロモーションスクールの活動は、
学校における「安全・安心への共感と協働」の
共有を基盤とし、子どもたちが10年・20年先の
地域の安全・安心を担う人材へと成長してくれ
ることを目標としています。



安全・安心の持続可能な発展

